



むらさん

第8号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷

中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700

グローバルリンクシンガポール



学校祭演奏



観光甲子園



酒米収穫



酒米を六歌仙へ



酒米仕込み

三年生の皆さんの中で、就職に内定した生徒や大学に合格した生徒たちが校長室に来て報告してくれました。見事、福島大学や山形大学に合格した生徒は、「これまで、多くの先生方にご指導していただいたから合格できました。」と報告してくれました。でも、私は違うと思います。自分の夢を獲得するために。先生方を信じて、厳しい指導から逃げずに学び続けたから合格できたのだと思うのです。そのためには、「素直さ」と「学ぼうとする態度」そして



村産生ってスゴイぞ！

校長 榎 誠司

「逃げずにチャレンジする姿勢」が彼らにあった。つまりどんなに辛くとも、あきらめなかったからこそ、合格という切符を手にしたのです。これこそが育てたい村産生なのです。私たち職員は、村産生一人ひとりが、自分が出来ないこと、失敗したことを家庭のせいにして、先生のせいにしてたりせずに、自らの力で着実に夢を獲得できるように指導してまいりますので、PTAのみなさまには、引き続きご支援ご協力をお願いします。



私たちは村産サポーター

PTA会長 矢萩 誠

開校四年目を迎えた平成二十九年度も、あつという間に一年が過ぎようとしています。今年度も徳内祭りや学校祭の餅つき、最北地区PTA研究集会など沢山の活動がありました。全てが無事に終わる事ができました。これもPTA会員の皆様、役員の皆様、校長先生はじめ教職員の皆様、そして地域の皆様のお力添えのおかげと深く感謝いたしております。生徒たちも農業科、工業科、商

業科が一致団結して新規プロジェクトへ取り組み、また部活動での活躍や東北インターハイ入賞など着実に新しい歴史を刻み続けています。これからも村山産業高校の更なる発展と活躍に期待いたします。今後もPTA活動を通して子ども達を支え、成長を見守り、地域に貢献し、そして地域に根差した活動が続けていきたいと思っています。私たちはこれからも村産サポーターであり続けます。

第六十七回全国高等学校PTA 連合大会静岡大会に参加して

角川 和広

昨年八月二十四日～二十五日の二日間参加させていただきしました。メインテーマは「有徳の人づくり」、つまり個人として自立した人、人の関わり合いを大切にすること、より良い社会づくりに参画し、行動する人を育てていこうというものでした。

基調講演、静岡大学名誉教授、小和田哲男氏の講演で、現代の子育て、人づくりに役立つヒントを聞くことができました。

二日間を通して、興味深い話が聞け、大変参考になりました。全国で各校のPTA活動にもっと積極的に取り組んでいる人たちがいることを目の当たりにして、大きな視点で活動をとらえるヒントを得たように感じました。



地区PTA報告

楯岡中地区 土田 貴

楯岡地区の今年度の活動としまして、八月二十日朝六時より、「村山徳内まつりの清掃ボランティア」へ参加致しました。早朝にもかかわらず、三十九名と沢山の保護者の皆様にご参加頂きまして、お祭りとは街に美化に役立つ事が出来たかと思えます。ご協力頂き誠に有り難うございました。

葉山中地区 増川喜与志

七月十一日に母校の葉山中での花壇への花移植を行った。参加した生徒達は一つ一つの思いを込め丁寧に作業をし



ていました。生き物に対する姿勢を感じる事が出来ました。中学校の先生方も大人になったと感動していました。今後活動も続けてほしいです。

河北中地区 鹿野 浩二

本年度、地区PTAの役員として活動に参加させて頂きました。生徒の皆さん花植え一生懸命で河北中も華やかになると思います。生徒の皆さんと交流する機会もなかなか無いので協力して良かったと思います。お世話になりました。有りがとうございました。

各専門委員

研修委員会

研修委員長 増川喜与志

来場者へのお餅の振る舞いの手伝いをしました。大勢の方が来る事は予測していましたが一回目、二回目共に一時間ほどで完売する勢いで、作業は大変でしたが、皆さんがおいしく食べている笑顔に救われました。

まろろす祭PTA主催餅つき

佐藤かおり

一般公開の日の朝の行事の餅つき。臼と杵でつく餅を毎年楽しみにしているお客さんも多いようです。役員の方々も協力して、納豆や餡にからめ皿に分けていくのですが、次々となくなっていく大盛況。文化祭を盛り上げる大切な行事の一つなのです。



佐々木哲也

初めて餅つきに参加させて頂きました。毎年恒例の無料配布とあって人の行列にとってもびっくりしました。餅切りがうまくいかず、手こずることもありましたが、これを楽しみに毎年こられる方々の為に、これからも継続していつてほしいと思います。お手伝いの方ご苦労様でした。



広報委員会

広報委員長 横 義浩

広報委員会では、生徒達が取り組んでいる、いろいろな活動内容や学校での出来事、興味深い話題など、またPTA活動を「むらさん」を通して読者の皆さんに少しでも知ってもらいたいと思っています。今年度も会報発行にあたり御協力くださいました方々に感謝申し上げます。

生活委員会

生活委員長 田苗 欣也

生活委員会の活動は、徳内祭りでの巡回パトロールとまろろす祭りでの餅振舞、そしてマナーアップを目的とした立哨始動を行いました。生徒たちが生き生きと学校生活を送れるように支えてきました。

これからも生徒たちの活動をサポートしていければと思います。

生徒会活動報告

前期生徒会メンバー

生徒会長 三年三組 矢野 瑞樹
 生徒会副会長 三年一組 金村 泰裕
 生徒会副会長 二年五組 石山 芽
 生徒会議長 三年五組 高橋 凌太
 生徒会副議長 二年四組 井島 慧

後期生徒会メンバー

生徒会長 二年五組 石山 芽
 生徒会副会長 二年四組 井島 慧
 生徒会副会長 一年三組 阿部 武宣
 生徒会議長 二年五組 後藤まなみ
 生徒会副議長 一年三組 森谷 達樹

前期生徒会長 矢野 瑞樹

新生生徒会長 石山 芽

前期生徒会活動では、二大行事のクラスマッチと学校祭において、どちらも大変な盛り上がりを見せました。また生徒会活動として、毎日のあいさつ運動や村産のお酒ネーミング選考、ソロフチミスト東根の方々のリーダー研修会を行いました。これらの活動で良い成果が見えましたが、一方で前期に行えなかった活動や行事と生徒会活動での課題もありました。

新生生徒会では、全校生徒のみなさんが「村産に入学して良かった」と思えるような学校づくりをしていきたいと考えています。その実現の為に、生徒総会で提案された意見を執行委員会の議題とし、生徒の意見をたくさん反映させていきたいです。

後期生徒会長では、今回の反省を活かし、学校を盛り上げていくってほしいです。

また、もしもプロジェクトを通してボランティア精神を大切にしていきたいと思っています。

みなさんの考える「理想の高校生活」を実現することができるよう、生徒会がサポートさせていただきます。一年間、よろしくお願いします！



酒米プロジェクト

稲作担当者 柴田 知幸

酒米プロジェクトの栽培担当として、お酒の原料となる「出羽の里」を三等級以上にしなければ特定名称酒としてお酒を販売することが出来ない、このことがなによりものプレッシャーでした。播種機や田植機などの機械類が相次ぎ故障し、尾花沢の宮沢まで田植機を借りに行った事、出穂後の日照不足と収穫時期の長雨で思うように作業ができなかったことなど様々な苦労がありました。隣のみちのく村山での等級検査の結果は、一等米ということで「特等」、「特上」の品質には及びませんでした。予想外のハプニングと天候不順の状況でこの品質を確保することが出来たのは教員、生徒においても栽培への自信になったと思います。

来年度は更なる品質向上を図り、酒米農家と同等の品質が得られるように生徒達と共に栽培に励んでいきたいと思っています。

グローバル・リンク・シンガポール

三年 矢野 瑞樹

グローバル・リンク・シンガポールにおいては、外国の方々に現地で研究を発表することの難しさや自分の住む環境の豊かさなどを学びました。これらは、海外研修でなければ、わからないことだと思います。今後の社会では、より英語能力が必要とされると思います。海外研修では学ぶことも多く、英語に取り組み意欲の向上につながると思うので、これからも行ってほしいです。また私が今回学んだ事を、これからの大学生活に生かしていきたいです。

八月にグローバル・リンク・シンガポールに行ってきた。海外には行ったことはあるが、自分の研究を発表したことはもちろん無く、初めての経験だった。東根市の補助金のおかげで行けたことは本当にありがたいものだと思う。入賞はしなかったものの、日本内外の学校のポスター発表、プロジェクト発表を聞いたのはとても大きな成果だと思う。今まであまり積極的に参加、活動してこなかったが、グローバル・リンク・シンガポールに参加してみて、もっといろんなものに参加、活動してみたいと思った。



二年一組 岡崎 孝樹
 私達、農業経営課生産技術



三年間の思い出

三年一組 荒木 莉緒

あつという間に終わってしまった二〇一七を振り返ります。春、毎年恒例のクラス替えのない学校生活三年目がスタートしました。夏、クラスマッチ女子ソフトボールで三年一組は二連覇をしました。秋、いよいよ



進路ついて本格的に、一発合格に向け勉強する皆の眼差しはとも素晴らしいものでした。冬、私達JK・DKライフも終わりを迎えようとしています。この三年間、一組の皆と共に泣き笑い騒げたこと、一組の皆と巡り会えたことをとても嬉しく思っています。一年生の時はクラスが嫌いでしたが今では本当に大好きです。本当に本当にありがとう。

三年二組 小玉 彩香

長いようで短かった高校生活を振り返ってみれば、たくさんさんの思い出があります。中でも私が最も心に残っている事は、柔道部での活動です。毎日、朝練や放課後の活動があり、土日も休みがなく、とても大変でしたが、たくさんさんの事を学ぶことが出来ました。特に礼儀や仲間の大切さを感じた事が出来ました。部活動で学んだ事は、今後の生活に活かしていきたいです。

また、私は、高校卒業後に介護の専門学校に進学します。夢でもある介護士になれるように、三年間過ごした高校生活で学んだ事を活かして頑張りたいと思います。



三年三組 佐藤 大暉

三年間の高校生活では沢山の思い出が残りました。文化祭では、三回とも大成功することができました。クラスマッチでは四十人全員が一致団結して優勝を目指して戦うことができました。クラス競技の縄跳びと障害物リレーは

クラスの絆を表現することができ、学年では一位を勝ち取ることができました。

修学旅行では、様々な観光地を周り特にUSJがとても楽しかったです。他にも多くの思い出があります。三年間の高校生活はとても充実していたと思います。これからも、三年三組の絆を大切にしていきたいです。



三年四組 伊藤 柊樹

残された登校日数が一カ月を切り、高校生活もラストスパートに入った。三年間を振り返ると、沢山の思い出があった。私達四組は、クラスマッチや学校祭などの行事を通じて団結力を深めることができた。三年目のクラス

マッチで総合三位に入ることができたのは、クラスの団結力が強く、学校祭で



は、クラス全員がそれぞれの仕事を全うしイベントを盛り上げた。今年はクラスCMで三位に入ることができ、皆で喜びを分かち合った。他にも修学旅行や学年行事など、語り切れないほどの思い出を作ることができた。ありがとう四組！

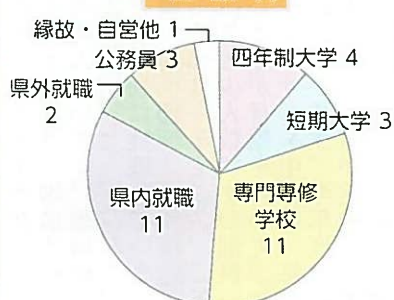
三年五組 須藤 颯斗

皆さんは、三年間の思い出と問われたら、何と答えますか。私にとつてクラス一丸となった思い出は、クラスマッチです。クラスマッチは競技に出場しているメンバーはもちろん、応援しているメンバーも一つになれます。普段は、話さないような人ともコミュニケーションを取り、勝つという目標に向かっていくのもおもしろい点です。結果として、一年生の時は振るわない結果でしたが、二・三年次には、競技によって優勝する事もあり、総合成績も上位に食い込む事ができ、三年間このメンバーでやってこられてよかったです。



進路状況

商業科



工業科



農業科



部活動紹介【文化部編】

演劇部

昨年度は自分たちの学年だけで活動をしていましたが、今年は一年生が加わりました。六月に定期公演「好きにならずにはいられない」を上演しました。大会作品では「さよなら涙君」を上演し、地区大会では優秀賞を頂き、念願の県大会の出場を果たしました。残念ながら東北大会へ進出することはできませんでしたが、貴重な経験ができました。東北大会の運営等もつがなで進行することができました。

家庭部

家庭部は一年生十六人、二年生六人の計二十二人で活動しています。主な活動は、小物やアクセサリなどの個人製作や調理実習です。他には地域ボランティアや被服製作検定、食物調理検定にも取り組んでいます。村産祭では、自分達で作った個人製作や豚汁、お菓子などを販売しました。これからも部員一人一人がいろんなことに挑戦して充実した部活動を送っていききたいと思います。

又新連部

又新連部は、現在二十一名で活動しています。日々行っている部活動では、演舞をより良いものにするため練習を頑張っています。去年の十月

に行われた県高総文祭では、最優秀賞をいただき八月に長野県で行われる全国大会に出場します。その他にも、徳内まつりを主に様々なイベントに出演しています。これから徳内ばやしの魅力を伝えていきたいです。

吹奏楽部

吹奏楽部は、主に、夏に行われる吹奏楽コンクールで良い結果を残すために、日々の練習を頑張ってきました。そのほかに、文化祭などでは、本校の吹奏楽部の男子部員のみで、バンドを組んで発表することもありました。先輩、後輩の仲もととてもよく、互いにアドバイスをしあったりなど、横のつながりはもちろん縦のつながりもしっかりできています。吹奏楽部に入ってから得ることはたくさんあります。入部してよかったと感じています。

工業部(機械班)

平成二十九年度機械班の活動は、三年生四名、二年生四名、一年生三名の十一名で始まった。今年度は、山形空港に置くインターハイの「総合案内所」作りから始まり、山新主催の高校生ロボットコンテストで、WINCON2017風力発電コンペに参加した。それぞれ三位、デザイン賞を受賞することができた。また公開講座やものづくりフェアで、サンドブラストによるガラスコップの製作を行い小・中学生に喜ばれた。文化祭の「大判焼き」も好評だった。これ

からも、色々なものの作り活動を続けていきたい。

茶道部

茶道部は、週一回講師の先生をお招きしてお稽古をしています。今年度は生徒達の茶会や村産祭で御点前を披露しました。一つ一つの作法をしっかりと身につけて、今年は昨年以上に美しい御点前を披露できるよう、日々のお稽古に励んでいます。

書道部

私たち書道部は、これまでたくさんのお稽古に出向しました。その中の、大ケヤキ全国所重絵画展で本校は「優秀団体賞」をいただきました。また、一年生の渡辺成美さんが、県高校総合文化祭で特別賞と書道部会長賞を受賞し、長野県で行われる全国高校総合文化祭に出品されることになりました。限られた人数しか出品できない全国大会に私たちの学校から出品できることはすごく嬉しいことだと思います。今後また皆さんの書道展に出品しますが、私たちが素晴らしい作品を作っていきます。

農業部(グリーンライフ班)

農業部グリーンライフ班は主に平板測量の大会に向け活動してきました。今年も、サーベイコンテストや農業クラブ平板測量競技会で最優秀賞を獲得することができました。また、全国大会に出場してきました。朝や放課後、夏休みなどの時間を利用して皆さんの練習を積み重ねました。この活動を通して、平板測量

の専門的な技術を学ぶことができ、改めて仲間の重要さを感じることができました。また、来年も三連覇を目指し頑張ってください。

工業部(電子班)

ものづくりを通して各種大会への参加や、科の行事に関わる活動を行っており、専門教科の学習をさらに深めた内容を三つのグループに分かれて取り組んでいます。今年度はジャパンマイコンカーラリー大会では二年連続全国大会に出場、WRO2018山形大会エキスパート競技優勝の成績を残すことができました。また、SDG&Dプロジェクトデザインコンテストへの初参加に挑戦しました。これからも技術・技能の向上のためがんばります。

農業部(農産技術班)

農業部農産技術班は、主に野菜の栽培と加工、販売を行っています。トマトやカボチャ、ジャガイモやサツマイモをはじめ、王様キャベツの雪太郎等を栽培しました。サツマイモは学校祭の時にスイートポテトにして販売しました。大変好評でした。また、家畜審査競技会の学習にも取り組んでおり、県大会で個人・団体ともに優秀賞に入ることができました。三年生が抜けると一年生だけになりましたが、しっかりと活動して行っています。

農業部(バイテク班)

農業部バイテク班では、サトイモやジンネンジの苗生産から栽培、加工品開発や絶滅

危惧種であるオキナグサやヒシモドキの保護、増殖活動に取り組みしています。地域の皆さんに協力していただき、様々な活動に挑戦しています。

美術部

美術部は一年生二名、二年生四名と少人数ですが部員一人ひとりが目標を持って、油絵やデッサンを中心に、毎日活動しています。今年度は高校美術展で二点が奨励賞に選ばれたほか、村山美術展や選挙啓発ポスターでも数点が入賞し、去年度よりも良い結果を残すことができたと思います。人数は少ないですが部員同士でアドバイスをし合いながら、制作に取り組んでいます。

ビジネス部

ビジネス部では、ワープロ競技大会へ参加するための練習をしています。毎日の主な練習内容は、ブラインドクツチをマスターするための練習を中心に行っています。十分間で入力できる字数を少しでも伸ばすためには毎日の継続した練習が大切です。十月に行われた新人ワープロ競技大会では、五月に行われる選抜大会に出場できる結果を修めました。部員が少ないため部員同士の距離感が近く、良い雰囲気での活動をしているので、この良い点を大会でも発揮できるように、頑張っていきたいと思います。



